

ぴっくす

まちの話題



いまきいれ 『今給黎教子さんが表敬訪問』

7月28日に、くいの松原の益丸海岸から、帆つきカヌー(全長4.3メートル・重量30キロ)で日本縦断の旅へ出航した女性冒険家の今給黎教子さんが、10月10日、大崎町役場を訪問されました。

今給黎さんは、9月の下旬に静岡県清水港で年内の航海を中断し、来年7月に同港から最終目的地である北海道室蘭市の地球岬へ向け再出発されます。

この日は、役場応接室で大勢の職員に出迎えられ、女性の職員が花束を贈りました。

今給黎さんからひとこと…「出発当日は、たくさんの人に見送っていただき大変感激しました。航海中は、各地の食べ物や習慣に触れることができとても楽しいでした。しかし、風が強い日はカヌーが転倒したり、また、陸地が見えなくなると即遭難してしまう可能性もあります。」と楽しい反面、常に危険と隣り合わせしていることも話してくださいました。

今給黎さんの航海の様子は、大崎町のホームページのリンクから見ることできます。ぜひ、ご覧ください。



『ウミガメを通じて国際交流』

10月20日、大丸小学校の6年生が、総合的な学習の時間を利用して、フィジー(オーストラリアの近くの島国)からやってきたフレディーさん(26歳)とウミガメなどの話について交流しました。

鹿児島大学に留学中のフレディーさんは、大丸小学校と同様にフィジーでウミガメの保護活動などにも取り組んでおり、この日は、お互いの活動状況について語り合いました。

ウミガメは、クラゲを食べる習性もあり、海を漂うレジ袋を誤って食べてしまい死亡することもあることから、「ゴミの不法投棄はやめて、動物も大切にしてもらいたい。」と環境問題についても触れました。



『福祉巡回車を寄贈』

少子高齢化が進む中で、在宅介護の必要性が高くなり、寝たきりとなった高齢者の介護の手助けにと、10月21日、鹿児島県生命保険協会から、大崎町社会福祉協議会に『福祉巡回車しろはと号』を寄付していただきました。

この福祉活動は、県内の生命保険会社職員・代理店からの寄付金により贈られたもので、全国の生命保険業界の中でも一番永く続いているそうです。

今後、この車両が有効に活用され、地域住民の方々の福祉の向上に寄与されることが期待されます。

